

～「知・徳・体」バランスのとれた教育をめざして～

山城中学校の「めざす生徒像」には

- ・自ら学ぶ意欲をもち、深く考える生徒
- ・豊かな心と協調性をもつ生徒
- ・強い心身とたくましい実践力を備えた生徒

という3項目を掲げています。これは、表題の「知・徳・体」とリンクしています。

学校教育として、毎日の授業において、生徒は様々な問いに対して考え答えを出しながら知識を増やしていきます。山城中学校では、問いによっては長年取り組んでいる「学び合い学習」に加え、「課題解決型学習」を取り入れていきます。これはグループ内で「わからないことを聞く」「教える」「考え方や理由を述べる」そしてグループの答えを「まとめる」「発表する」などの作業により認知能力に併せて「考える力」「コミュニケーション力」などの非認知能力も養っていきます。＊「知」の育成

「道徳」では3年間で多項目について学びます。これにも「学び合い学習」などを取り入れることによって、他者（友達）との意見の違いに気づくことで考え方の幅が生まれます。また学校やクラスの一員として人との関わりや自分の役割などに気づくなど、集団生活の中での学びは社会に出たときに役立つと考えています。＊「徳」の育成

保健体育では、学習指導要領に則した内容の種目を学び、健康と運動の大切さやスポーツの楽しみ方、自分の運動能力を知るなど生活するうえで重要なことを学びます。運動部活動に参加する生徒は毎日一定の運動によりルールや技術を学びます。＊「体」の育成

これらをバランス良く学びながら、「人とのつながり」「思いやり」をもつ精神を養い、自分の夢を持ち高い目標を掲げて、日々成長してほしいと願っています。

また、地域とのつながりを大切にし、地域を題材にした「ふるさと学習」も進めています。地域の皆様にご協力願うこともあると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。地域の温かさを実感しこの山城町を大切にする生徒が増えると幸いです。

地域・保護者の皆様には、学校教育にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。思春期の子どもたちを育てるのは大変な苦勞があります。しかし、心身ともに成長し、地域・保護者の皆様に喜ばせることも多々あるのではないのでしょうか。学校・家庭・地域みんなで連携して、あたたかく子どもたちを育てていきましょう。

どうぞよろしくお願い致します。

令和7年4月
木津川市立山城中学校
校長 高橋 敬子